

映画『冬未来』と香港映画を語る

2025年1月14日（火）16：00～
@海外事情研究所（研究講義棟427室）

※学内者は事前申込み不要。
※学外の方は下のQRコードから参加登録をお願いします。

- 登壇者：曾翠珊（映画監督）
秋山珠子（神奈川大学）
- 司会：倉田明子



TUFS Cinema香港映画上映会『冬未来』に合わせて来日中の曾翠珊監督から、『冬未来』の製作について、また香港映画界の今とこれからについて語っていただきます。コメンテーターは中国語圏の映画研究を専門とする秋山珠子氏。

曾翠珊

映画監督。2001年、香港演芸学院映画テレビ学科を卒業（音響デザイン専攻）。2005年に香港城市大学クリエイティブ・メディア学院修士課程を修了。2008年、『恋人路上』で長編映画デビューし、台湾の南方影展（South Taiwan Film Festival）で最優秀長編映画賞を受賞。2011年、長編2作目となる『ビッグ・ブルー・レイク』は、香港映画評論学会の年間推薦作品に選出、香港電影金像獎で最優秀新人監督賞を受賞。以後、『河の流れ 時の流れ』（2014）、『香気』（2014）、『非分熟女』（2019、第14回大阪アジア映画祭コンペティション部門ノミネート、第38回香港映画金像賞最優秀主演女優賞ノミネート）などを監督。

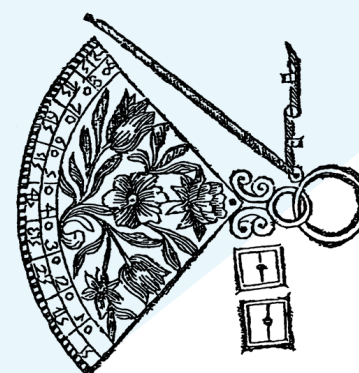


秋山珠子

神奈川大学外国語学部中国語学科准教授。1990年代初めより中国語圏の映画監督・美術家らと多く親交を結び、研究・通訳・翻訳を通して彼らの活動に伴走する。共著に『動物×ジェンダー—マルチスピーシーズ物語の森へ』（青弓社、2024）、『Chinese Cinemas in Translation and Dissemination』（Routledge、2021）、共編著に『華語独立映像観察』1「特集＝現代日本と中国インディペンデント映画のコネクション(1989-2020)」(CIFA、2021)、訳書に『侯孝賢の映画講義』（侯孝賢著、みすず書房、2021）、字幕翻訳に『鉄西区』（共訳、王兵監督、2003）など多数。



主催：海外事情研究所
連絡先：倉田明子研究室 akurata[at]tufs.ac.jp
([at]を@に変えてください)



IGAS